

AI等の活用を推進する 研究データエコシステム構築事業

デジタル技術とデータ活用による研究活動の変革（研究DX）を全国的に促進するため、「ユースケースの形成、普及」「データ共有・利活用の促進」「研究デジタルインフラ等の効果的活用」を一体的に進めることを目的とした文部科学省の事業です。国立情報学研究所（NII）は、理化学研究所、東京大学、名古屋大学、大阪大学とともにこれを受託し（2022年度～最大5年間）、実施に取り組んでいます。

プラットフォーム連携チーム



- 機関内サービス等とNII RDCの連携機能の整理と設計
- 計測機器等からの大量データを効果的に管理するための要件整理と機能開発
- 管理対象となるメタデータの設計と実証
- 関連する高度化機能との仕様調整と共同開発

NII RDCと分野PFの連携

融合・活用開拓チーム



- 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に発展する取り組みを精査
- 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に関する具体的なユースケースを創出
- ユースケースをまとめたツールキットの作成とそれを用いた広報活動

NII RDC利用のプラクティス

ルール・ガイドライン策定チーム



- 研究データの活用に適した機械可読データの統一的な記述ルールの設計
- 研究データの公開に必要な要項や作業フローの整備
- 研究データを適切に取り扱うための指針のまとめ
- 学内整備のための事例形成

データ管理公開の組織的役割

人材育成チーム



- 人材育成を主とした研究データ管理体制の構築を推進する学内組織構築の事例形成
- 研究データ管理人材に求められる標準スキルに関する検討
- 研究データ管理人材育成のためのカリキュラムの作成、オンライン学習コースの整備

データ管理公開の組織的支援

研究データ基盤高度化チーム

NII • NII RDCを7つの側面から機能拡張

コード付帯機能

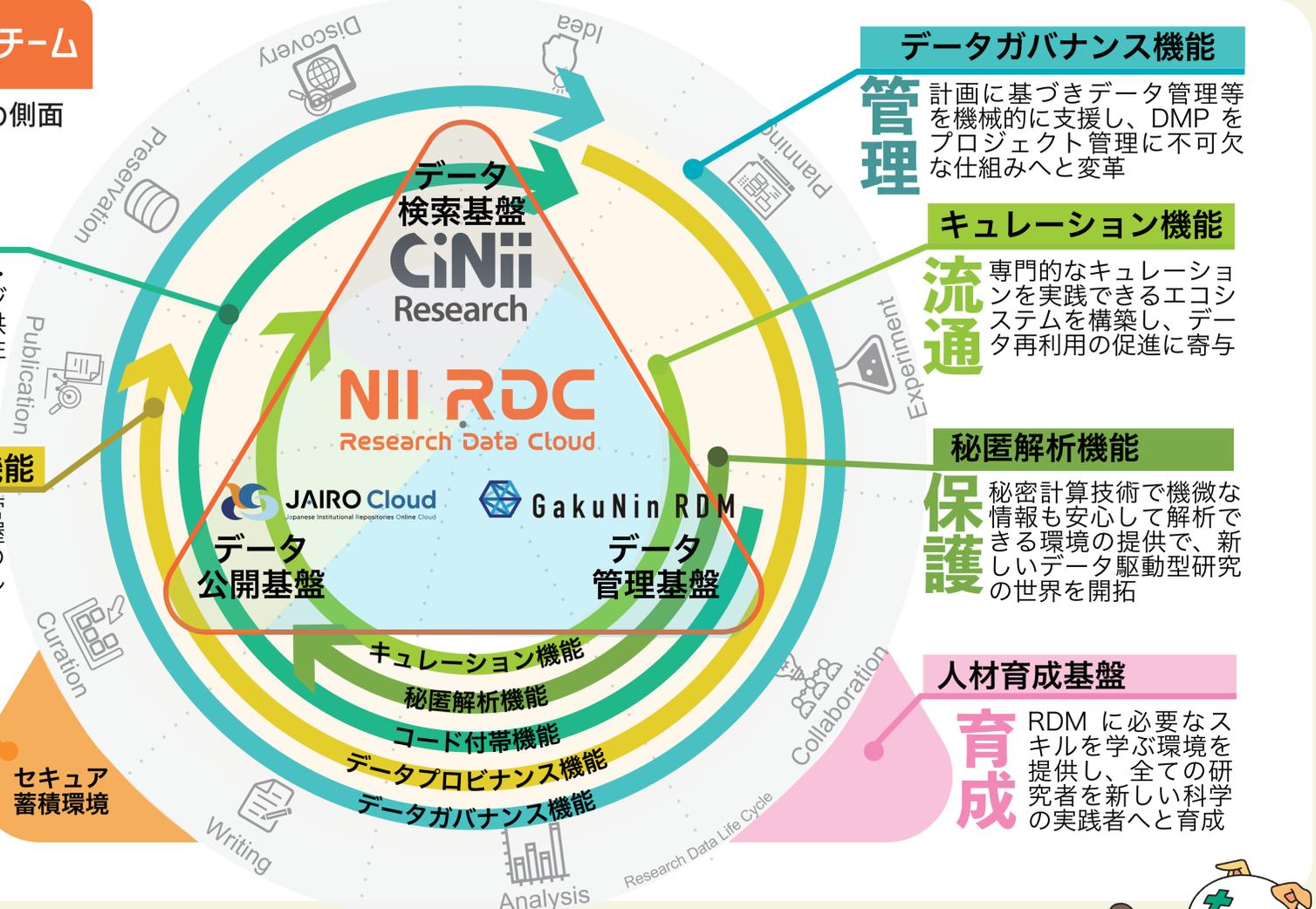
活用 データ・プログラム・解析環境のパッケージ化と流通機能を提供し、研究成果の再現性を飛躍的に向上

データプロビナンス機能

信頼 データの来歴情報の管理から利用状況を把握でき、データ公開へのインセンティブモデルを提供

セキュア蓄積環境

蓄積 安全で強固なデータの保存・保護機能を有する超鉄壁ストレージを提供し、機微な情報も安心して保全



データガバナンス機能

管理 計画に基づきデータ管理等を機械的に支援し、DMPをプロジェクト管理に不可欠な仕組みへと変革

キュレーション機能

流通 専門的なキュレーションを実践できるエコシステムを構築し、データ再利用の促進に寄与

秘匿解析機能

保護 秘密計算技術で機微な情報も安心して解析できる環境の提供で、新しいデータ駆動型研究の世界を開拓

人材育成基盤

育成 RDMに必要なスキルを学ぶ環境を提供し、全ての研究者を新しい科学の実践者へと育成

